

令和6年度県立学校学校評議員の運営状況

1 日時、場所、出席状況等

第1回	日時	令和6年7月17日(水)	場所	本校4F交流ホール	出席状況	学校評議員3名・教職員11名
第2回	日時	令和6年12月20日(金)	場所	本校4F交流ホール	出席状況	学校評議員4名・教職員11名
第3回	日時	令和7年3月11日(火)	場所	本校4F交流ホール	出席状況	学校評議員3名・教職員9名

2 学校評議員に求めた事項

- ①中高一貫校としての特色と学校の活性化
- ②中学校の外進生と高校の定員割れに対する対策
- ③PTA活動の活性化について
- ④保護者への情報発信について
- ⑤不登校生徒への対応

3 学校評議員の意見

- ①あらゆる場面で、地域・保護者の方々の協力を得ながら連携をとって学校運営にあたることが大切。
- ②ピアチューターなどの中高生徒の連携や中高職員間の連携・交流を更に深め、特色有る学校を創ることが重要。
- ③中高に一人一台の端末が導入されているので、授業での活用を推進していく。また、中学校の方が授業での活用は進んでいるので、高校職員は中学校の授業を参観するなど研修をつんで欲しい。
- ④部活動内での、職員の生徒へのハラスメント等の言動は絶対無いように全職員でしっかり確認する。
- ⑤中学生と高校生の交流をたくさん行い、中高一貫教育の魅力を深めていく必要がある。
- ⑥スクリレの活用を更に図り、各担当や各部・担任からの保護者への情報発信を更に増やす。

4 学校運営に反映した事項

- ①生徒の安全面について、学校内外の事故や事件等についてスクリレを活用して広く保護者へ注意喚起した。
- ②中学校から高校への進学での外進生の多さ、高校入試時の定員割れを防ぐため、学校の魅力を便りやパンフレットを活用して積極的に発信した。
- ③中高の職員が一緒に参加する研修の実施。

5 課題その他

- ①一人1台のPC端末の授業での利活用について、教員のスキルアップも含めて推し進める。
- ②中学校から高校への進学での外進生の多さ、高校受検時の定員割れを防ぐための手立ての構築。
- ③中高一貫教育を活かした特色ある教育課程を更に深めていく。
- ④中高での探求学習の充実を図る。
- ⑤不登校や登校渋りの生徒への指導とその対策。